

**全国標準積算資料（土質調査・地質調査）**

**積算基準（案）**

（車両給水費、泥水処理費、試掘、舗装の取壊し・復旧）

令和3年1月

一般社団法人全国地質調査業協会連合会

積算委員会

この積算基準（案）は、「全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和2年度改訂歩掛版」に掲載する下記の3項目の歩掛について、その見直しを行ったものである。積算業務に当たっては、当積算基準（案）を適用願いたい。

なお、これらの歩掛については、発注機関や地質調査会社などから見直し要望の意見が複数寄せられていた。これを踏まえ、全地連積算委員会では、業務内容や歩掛を再精査の上、その実態を早い段階で適切に積算に反映するのが望ましいと判断し、今回、積算基準（案）を作成し公表したものである。

**全国標準積算資料（土質調査・地質調査）令和2年度改訂歩掛版**  
**歩掛の変更点について**

**歩掛①： 第Ⅲ編 2-5-2項 車両給水費（Ⅲ-26ページ）**

- ・歩掛表の項目・数量等の見直し → 「車両給水」歩掛表
- ・歩掛表の追加【新設】 → 「給水仮設・撤去費」歩掛表

**歩掛②： 第Ⅲ編 2-6節 産業廃棄物処理費（Ⅲ-27ページ）**

- ・歩掛表タイトルの変更、項目・数量等の見直し → 「泥水処理費」歩掛表

**歩掛③： 第Ⅲ編 2-8節 埋設物事前確認および復旧（Ⅲ-28ページ）**

- ・目次タイトルを次の通り変更 → 「2-8節 試掘、舗装の取壊し・復旧」
- ・歩掛表の追加【新設】 → 「試掘（ボーリング調査）」歩掛表
- ・歩掛表タイトルの変更、項目・数量等の見直し  
→ 「舗装の取壊し・復旧、掘削等」

\* 地表の条件には、従来のアスファルト、コンクリートのほか、裸地を追加

以上

歩掛①： 第Ⅲ編 2-5-2項 車両給水費（Ⅲ-26ページ）

2-5-2 車両給水費

車両給水費とは、ボーリングに使用する掘削用の水を調査地周辺で調達できない場合、水源から掘削地点または送水地点まで掘削用の水を搬入する費用である。一般に3～5 m<sup>3</sup>程度の水タンクを積んだ車両が使用される。

搬入した水を一時的に貯める貯水タンクを設け、そこからボーリング地点まで送水する場合は、貯水タンクの給水仮設・撤去費を計上すること。

車両給水（1回当たり）歩掛表 (Ⅲ037表)

種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要
直接人件費	運転手（特殊）	人	0.5	タンク車運転者
	地質調査員	〃	0.5	
動力費	軽油	ℓ	11.2	4時間
機械等損料	給水車	日	1.0	(リース代) 直人*130% (散水車・タンク容量1,800ℓ)

- (注) 1. 給水車（タンク車）の借上げに代わり小型トラックにドラム缶を積んで運搬給水する場合は、実態に応じて積算のこと。  
 2. 機械等損料: 直接人件費\*130%  
 3. 水代が必要な場合は別途計上のこと。  
 4. 1回当たり作業時間は半日（4時間＝移動往復1時間+給水時間等）とし、また給水車のリース代は貸出の実態に応じて1日とし計上した。

給水仮設・撤去費（1箇所当たり）歩掛表 (Ⅲ037-1表)

種 別	細 別	単 位	数 量	摘 要
直接人件費	地質調査員	人	1.0	
機械等損料	クレーン付きトラック運搬	日	1.0	2t積2.9t吊
	貯水タンク	日		ポリローリータンク 容量2.0m <sup>3</sup>

- (注) 1. 貯水タンクの損料は使用日数を計上のこと。また、貯水タンクをリースする場合は、リース代として計上のこと。  
 2. 安全監視員等特別な対策が必要な場合は、別途計上のこと。  
 3. 貯水タンクの規模を大きくする必要がある場合は、実態に合わせて別途計上のこと。

歩掛②： 第Ⅲ編 2-6節 産業廃棄物処理費（Ⅲ-27ページ）

2-6 泥水処理費

調査ボーリングにおいて泥水処理（廃棄）が必要とされる場合は、廃棄物処分業者に委託し廃棄処分を行う。

泥水処理1ヵ所当たり内訳表 (Ⅲ038表)

種別	細別	単位	1ヵ所当た	摘要
準備費	排泥タンク設置，撤去費	ヵ所		Ⅲ039表
運搬費	泥水処理	回		Ⅲ040表

排泥タンク設置，撤去費1ヵ所当たり歩掛表 (Ⅲ039表)

種別	細別	単位	数量
直接人件費	主任地質調査員	人	0.5
	地質調査員	〃	0.5
材料費	排泥タンク	個	0.2
	消耗品費	式	1

(注)1. 排泥タンクは、容量1kℓ程度・1台を標準とし、損耗率20%として計上のこと。  
2. 消耗品費：その他の材料費計\*5%

泥水処理1回当たり歩掛表 (Ⅲ040表)

種別	細別	単位	数量
労務費	特殊運転手	人	1.0
材料費	軽油	リットル	28.8
機械等損料	汚泥吸排車 (リース代)	日	1.0
廃棄費	泥水処理料	式	1

(注)1. 汚泥吸排車（バキューム車）の積載重量は3.1～3.5t相当を計上のこと。  
2. 揚水試験などで大量に泥水が発生する場合、必要に応じて大型バキューム車を計上のこと。  
3. 泥水処理料は実際の数量に対して調査対象地近隣の処理場の実勢単価を用いること。  
4. 機械等損料：労務費計\*51%

2-8 試掘、舗装の取壊し・復旧

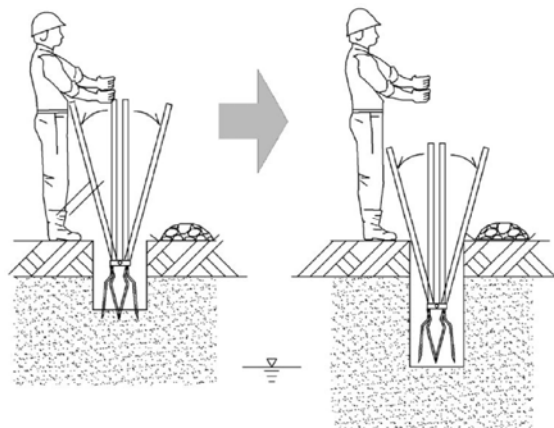
本節では、次の歩掛を掲載する。

- (1) 試掘 [ボーリング調査]
- (2) 舗装取壊し、掘削等 [埋設物調査] [CBR調査]

(1) 試掘（ボーリング調査）

ボーリング調査では、埋設物を避けるためにボーリング地点を試掘し電気、水道、ガス、通信などの地下埋設物がないことを確認する必要がある。試掘を行う際は、事前に電気などの関係機関に問い合せて、埋設物図面の確認調査や必要に応じて現地立会いなどを行う。

試掘は、ダブルスコップなどを使用して手掘りによって直接的に確認する。試掘の最大深度は1m程度である。



試掘作業概念図

試掘（深度1.0m，1箇所当たり）歩掛表 (Ⅲ042-1表)

種別	細別	単位	数量	摘要
直接人件費	地質調査技師	人	1.6	
	主任地質調査員	〃	0.2	
	地質調査員	〃	0.2	
材料費	ダブルスコップ	個	0.02	50回使い 直人*2.2%

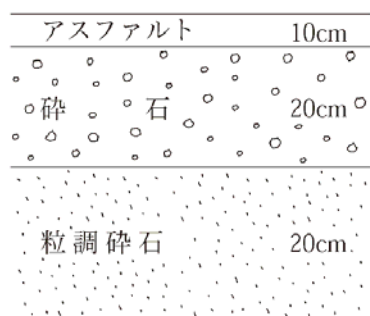
(注) 地質調査技師の数量には、関係機関での資料確認調査等を含む。

(2) 舗装の取壊し・復旧、掘削等 [埋設物調査] [C B R 調査]

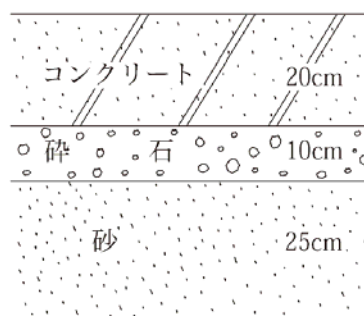
ここでの歩掛は、埋設物確認のための調査を面的かつ小規模で調査を行う際、またはC B R 調査のために舗装の取壊しや掘削などを行う際に適用する。

積算条件

- 1 交通規制，見張員，保安用具は含まない（実状により別途計上）。
- 2 昼間作業とする（夜間作業は25%増し，照明設備を別途計上）。
- 3 地下水はないものとする（地下水がある時は排水設備を別途計上）。
- 4 掘削の規模  
 （埋設物調査） 1 m×1.5 m×深さ2 m（3.0 m<sup>3</sup>）  
 （C B R 調査） 1 m×1.5 m×深さ1 m（1.5 m<sup>3</sup>）
- 5 舗装切断は1日5カ所連続作業とする（1カ所ずつ施工する時は70%増し）。
- 6 舗装復旧は現状断面に合わせるのを原則とするが、図のように仮定する。
- 7 電気、水道などの関係機関に対する埋設物図面の資料調査、立会いなどが必要な場合は、別途計上のこと。



アスファルト舗装



コンクリート舗装

平均能率（1カ所当たり・日）

作業分類	埋 設 物 調 査			C B R 調 査			摘 要
	アスファルト	コンクリート	裸 地	アスファルト	コンクリート	裸 地	
カッター切断	0.20	0.20	—	0.20	0.20	—	特殊作業員
舗装取壊し	0.35	0.85	—	0.35	0.85	—	
掘 削	0.30	0.30	0.30	0.15	0.15	0.15	
埋 戻	0.30	0.30	0.30	0.15	0.15	0.15	
ベース突固め	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
舗 装	0.20	0.20	—	0.20	0.20	—	特殊作業員

舗装の取壊し・復旧、掘削等 1カ所当たり歩掛表

(Ⅲ 042 表)

種別	細別	単位	埋設物調査			C B R 調査			摘要
			アスファルト	コンクリート	裸地	アスファルト	コンクリート	裸地	
直接 人件費	地質調査技師	人	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	1人 3人 カッター工・舗装工
	主任地質調査員	〃	1.2	1.7	0.85	0.9	1.4	0.55	
	地質調査員	〃	3.6	5.1	2.55	2.7	4.2	1.65	
	特殊作業員	〃	0.4	0.4	—	0.4	0.4	—	
材料費	カッター刃先	枚	0.1	0.2	—	0.1	0.2	—	仮補修用  上記材料費計*5%
	砂	m <sup>3</sup>	2.25	2.55	0.75	2.25	2.55	0.75	
	粒調碎石	〃	0.30	—	—	0.30	—	—	
	碎石	〃	0.30	0.15	—	0.30	0.15	—	
	常温補修材	kg	40.0	40.0	—	40.0	40.0	—	
	アスファルト	m <sup>3</sup>	0.15	—	—	0.15	—	—	
	コンクリート	〃	—	0.30	—	—	0.30	—	
	燃料	ℓ	25.0	17.0	—	25.0	17.0	—	
	雑品	式	1	1	1	1	1	1	
				(直人×22%)	(直人×18%)	(直人×4%)	(直人×26%)	(直人×22%)	
機械等 損料	コンクリートカッター	日	0.2	0.2	—	0.2	0.2	—	ブレード付 30cm 1.2m <sup>3</sup> /min 75kVA 振動式 1t 80kg
	ブレーカー	〃	0.5	1.0	—	0.35	0.85	—	
	ゼネレーター	〃	0.8	1.0	—	0.5	1.0	—	
	ローラー	〃	0.2	—	—	0.2	—	—	
	ランマー	〃	0.4	0.4	0.4	0.32	0.32	0.32	
				(直人×6%)	(直人×4%)	(直人×1%)	(直人×6%)	(直人×6%)	
運搬費	カッター	回	1.0	1.0	—	1.0	1.0	—	2tトラック  ブレーカー他
	残土	〃	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	機械	〃	1.0	1.0	—	1.0	1.0	—	
	材料	〃	3.0	3.0	—	2.0	2.0	—	
				(直人×118%)	(直人×78%)	(直人×10%)	(直人×120%)	(直人×80%)	